

# 安全衛生と健康

「安全と健康を守ることはすべてに優先する」との基本理念のもと、設備の本質安全化・危険予知活動・疾病予防活動・安全衛生教育の整備等を継続して実施してきました。また、2001年度より、労働安全衛生マネジメントシステムを導入し、さらなる安全衛生管理レベル向上のため、システムの定着化を図っています。

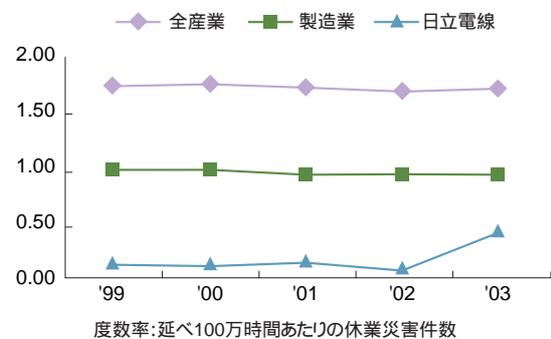
## 2004年度全社安全衛生管理方針

1. 危険感受性の向上
2. 高リスク設備・作業の日常安全対策の推進
3. 非正常作業の安全管理強化
4. 防災管理の整備・徹底
5. グループ会社・請負会社の安全管理・指導の強化
6. 健康管理の充実
7. 交通安全対策の推進

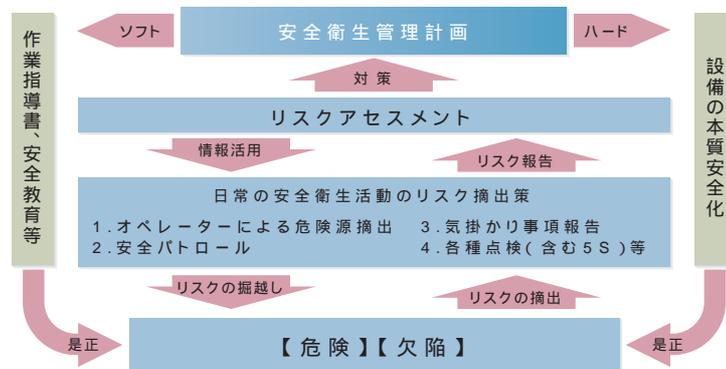
## 安全衛生

長年、積極的に労働災害撲滅に取り組み、一定の成果を上げてきましたが、残念ながら昨年は非正常作業時の災害が増加し、度数率0.48となりました。危険に対する感性の低下が懸念されることから、今年度は従業員一人ひとりが危険要因を抽出する全員参加のリスクアセスメント活動を中心に、危険感受性の向上と情報の共有化を図りながら、災害撲滅に取り組んでいきます。

## 災害度数率



## リスクアセスメントを主体とした安全衛生活動



## 健康

30歳・35歳到達時及び40歳以上の人間ドック受診制度を確立し、健康管理の充実を図っています。また、生活習慣病の予防活動として「高血圧」「糖尿病」「高脂血」「腎症」の疾病予備群に対する定期的な保健指導を実施しています。メンタルヘルスに関しては、日立グループ内の医療機関やEAPセンタと連携し、相談体制の整備、管理者教育等を積極的に推進しています。



安全衛生研究発表会  
(リスクアセスメント対策結果報告、改善事例報告)